



# 学校だより

## 和歌山市立四箇郷小学校

平成30(2018)年度:No.46

11月号No.2文責/校長:上田 仁

先日、近隣の病院よりお医者さんが来校。健診ではありません。4年生を対象にした『禁煙教室』の講師で来ていただきました。

### 【今と昔】

和歌山県は、全国に先駆けて学校敷地内全面禁煙に踏み切った自治体です。今では当たり前前のことですが、当時は結構話題になったものです。常々やめようと思っていた自分が、きっぱり煙草を吸わなくなったきっかけになったのですから、私的(わたくし)には感謝しています。

病院に外来があるぐらいですから、煙草をやめるためには、医学的な面からも対処しなければならないようです。但し、自分は何もせず思いのほか簡単にやめることができたので、そこは個人差があるみたいですね。

さて、その若いお医者さんは、子どもとの距離が近く、アニメのキャラクターやYouTuberを紹介したり、スマホを活用したりしながらと、子どもと対話しながら進めていました。講義然とした雰囲気ではなく、ルールに乗ったプレゼンでもなかったことが印象に残っています。これも時代のちがいを感じますね。

### 【煙草とゲーム】

煙草が健康に悪いとわかっていながらも、吸っている理由が子どもたちには理解しにくいかもしれません。コンビニや自販機で買えるもので、身近な家族が使っているもので、これほど患者扱いされるものはそうそうないですから。ずっと吸っているご高齢の身内が、病気ひとつせずに元気に生活していることに対する疑問の声も耳にしました。

子どもの『なぜ煙草をすぐにやめられないの?』という質問に、『ゲームってすぐにやめられる?』と返され、『ああそうか』とすぐに納得する場面もあって、思わずクスツとしてしまいました。

ゲームの害や中毒性とちがって、煙草のそれは確定されている違いはあれども、『わかっていてもやめられない』という気持ちは、大人も子供も同様かもしれません。



### 【好奇心】

質問コーナーでは、ありとあらゆる質問が続きました。若い先生は、いたく感心しながら丁寧に説明してくれました。あまりにも質問が続くので、こちらからストップがかかるほど。でも先生曰く、『好奇心があることは本当にいいこと。だからどんどん疑問があれば聞いてくれたらいいよ』とのお言葉。きつこの若いお医者さんも、子どもの頃から好奇心旺盛だったんでしょね。ふとサイトで目にした言葉が頭に浮かびました、『好奇心を持つと、人生や経済的、精神的に豊かになる』と。ふうむ…

### 【GTの大切さ】

煙草の害なんて自分は学校で習った記憶がありません。高校ぐらいで保健の授業であったかもしれませんが覚えていません。担任だけでなく、学校外の他業種の方から聞く話は、けっこうインパクトがありずっと心に残っているものです。そんな意味からも、こうやってGT(ゲストティーチャー)の授業を受けることで、正しい知識と判断力を持てる子どもたちが育つことは喜ばしいことです。